

2025年3月25日

2人に1人が花粉症、「花粉症調査 2025」結果発表

花粉症の半数が20代までに発症、最も発症率が高いのは山梨県

～アレルギー免疫療法の実施率は4%、花粉症の対策費用1位は徳島県～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:石橋 知博)は、花粉症の発症率や対策の実態を調査するため、スマホアプリ「ウェザーニューズ」を通じて「花粉症対策調査」を実施し、その結果を発表しました。本調査の結果は、ウェザーニューズのウェブサイトで公開するとともに、今後の花粉情報の提供に活用していきます。

✔ポイント

- 2人に1人以上が花粉症で、半数が20代までに発症、最も発症率が高いのは山梨県
- 3割が飛散開始前から対策、最も事前対策への意識が高いのは徳島県
- 花粉症の半数以上が“治療していない”、アレルギー免疫療法の実施は4%
- 花粉症の対策費用は2023年から391円減少、対策費用1位は徳島県

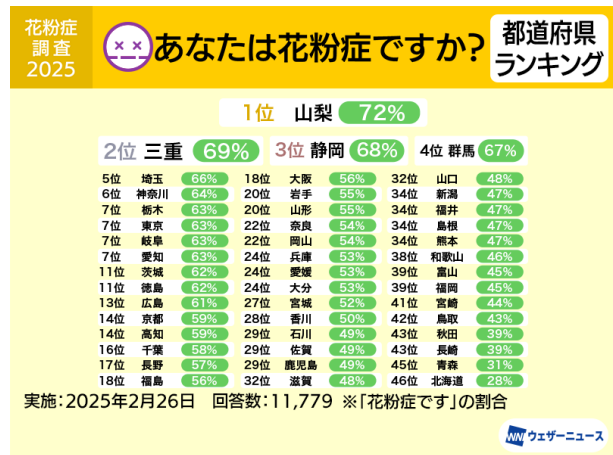
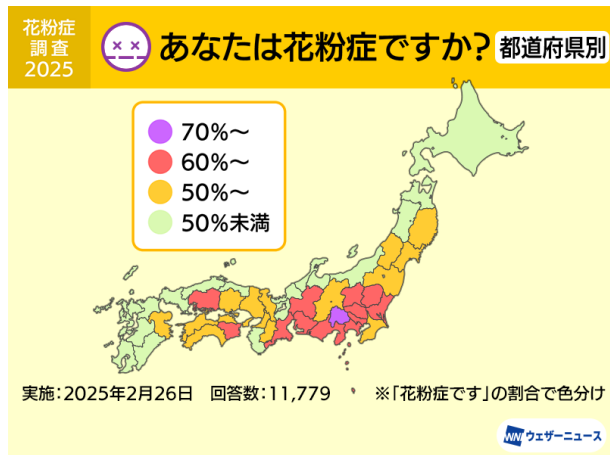
本プレスリリースの素材のダウンロード

ウェブ版プレスリリース「花粉症調査 2025」
<https://jp.weathernews.com/news/51532/>

◆ 2人に1人以上が花粉症、半数が20代までに発症

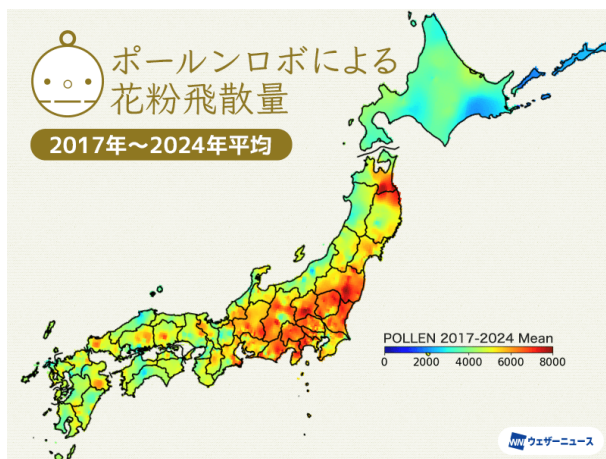
<最も発症率が高いのは山梨県>

ウェザーニューズアプリのユーザーに「あなたは花粉症ですか?」と質問し、「花粉症です」「花粉症ではない」の2択で回答していただきました(回答数:11,779)。「花粉症です」と回答した方は58%で、2人に1人以上が花粉症ということがわかりました。まさに「国民病」と言っても過言ではありません。都道府県別に見ると、最も花粉症の方の割合が高かったのは山梨県で72%、2位は三重県で69%、3位は静岡県で68%と続きます。東京都は7位、大阪府は18位、愛知県は7位でした。全国平均の58%を超える県は本州の太平洋側に集中しており、特に関東甲信と東海で60%を超える県が多くなりました。



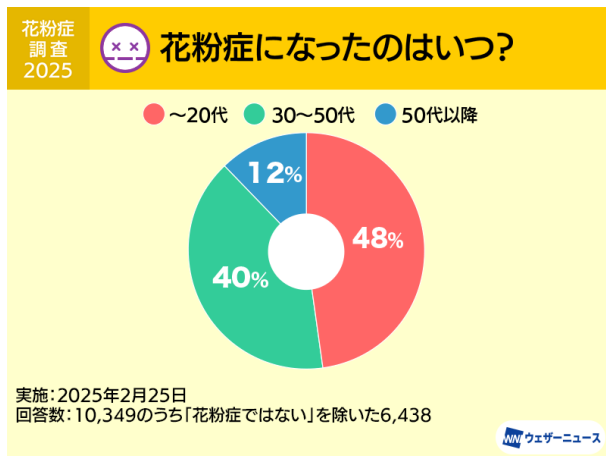
＜発症率の上位は飛散量も多い傾向＞

ウェザーニュースが全国に設置している独自の花粉観測機「ポールンロボ」による観測に基づいて解析された、2017～2024年の花粉飛散の平均値を見ると、東北北部の一部や福島県、関東甲信、東海などで特に飛散量が多いことがわかります。東北北部では花粉症の発症率が30～40%台で都道府県ランキングも40位以下のため、発症率と飛散量が完全に一致しているとはいえませんが、上位にランクインしている山梨県や静岡県、関東などでは飛散量も多い傾向にあります。



＜半数が20代までに発症、50代以降の発症も1割で油断禁物＞

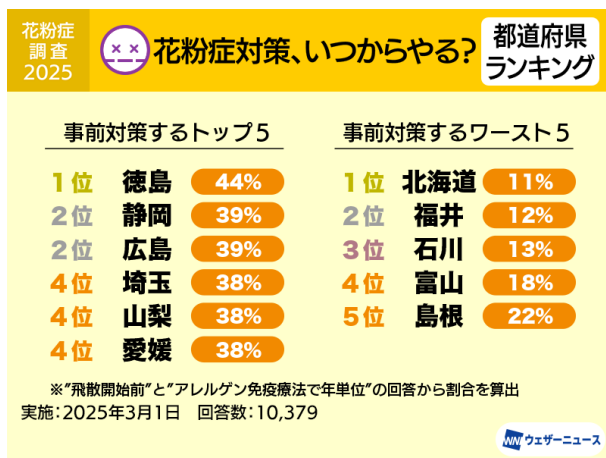
花粉症を発症した年齢について「花粉症になったのは何歳ごろですか?」と質問し、「～20代」「30～50代」「50代以降」「花粉症ではない」の4択で回答していただきました(回答数:10,349)。「花粉症ではない」を除いて集計すると、「～20代」の回答が48%と最も多く、花粉症の方の約半数が10歳未満や10代、20代で花粉症を発症していることがわかりました。また「50代以降」に発症した方も12%で、まだ症状が出ていない方も油断できないことが伺えます。



◆ 3割が飛散開始前から対策、最も事前対策への意識が高いのは徳島県

＜関東甲信など太平洋側は飛散前から対策実施＞

花粉症対策を始める時期について「花粉症対策、いつからやっている?」と質問し、「症状が出てから」「飛散開始前」「アレルギー免疫療法で年単位」「何もしない・花粉症ではない」の4択で回答していただきました(回答数:10,379)。「症状が出てから」が28%、「飛散開始前」が30%、「アレルギー免疫療法で年単位」が2%、「何もしない・花粉症ではない」が40%でした。「飛散開始前」と「アレルギー免疫療法で年単位」の回答を合計した、事前に対策している割合に注目して分析すると、最も対策意識が高いのは徳島県で44%、2位は静岡県と広島県で39%、4位は埼玉県と山梨県と愛媛県で38%でした。全国平均の32%を超える県は関東甲信や西日本の太平洋側に集中しており、一方、事前対策に力を入れていないのは、北海道や北陸、山陰など日本海側の地域が目立つ結果となりました。

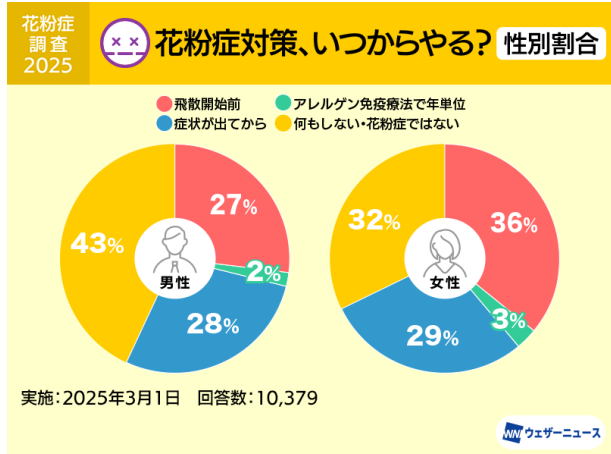


最も対策意識が高いのは徳島県で44%、2位は静岡県と広島県で39%、4位は埼玉県と山梨県と愛媛県で38%でした。全国平均の32%を超える県は関東甲信や西日本の太平洋側に集中しており、一方、事前対策に力を入れていないのは、北海道や北陸、山陰など日本海側の地域が目立つ結果となりました。

＜女性は男性より対策意識が高め＞

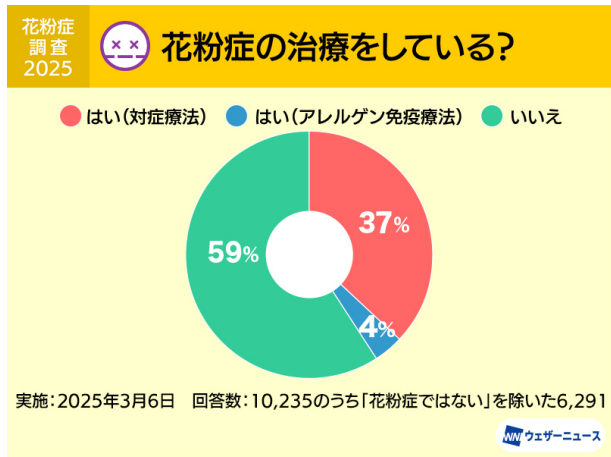
男女別で見ると、事前に対策している割合は男性が29%、女性が39%と、男性よりも女性の方が事前対策をする方が多くなりました。

「あなたは花粉症ですか？」と質問し、「花粉症です」と回答した割合を男女別にみると、男性が56%、女性が63%と、花粉症の発症率は女性の方の割合が多くなりました。この発症率の差が事前対策への意識の差につながっていると考えられます。



◆ 花粉症の半数以上が“治療していない”、アレルゲン免疫療法の実施は4%

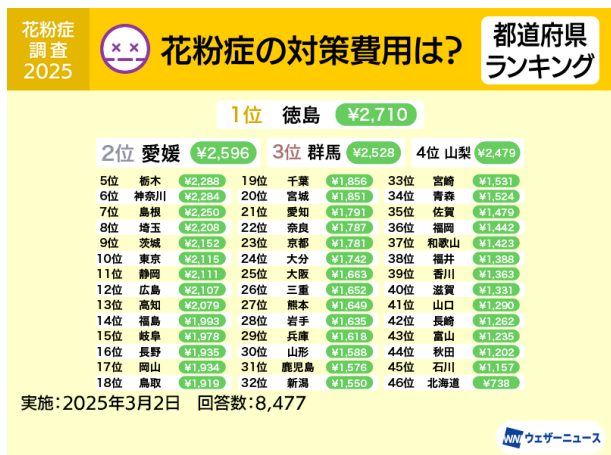
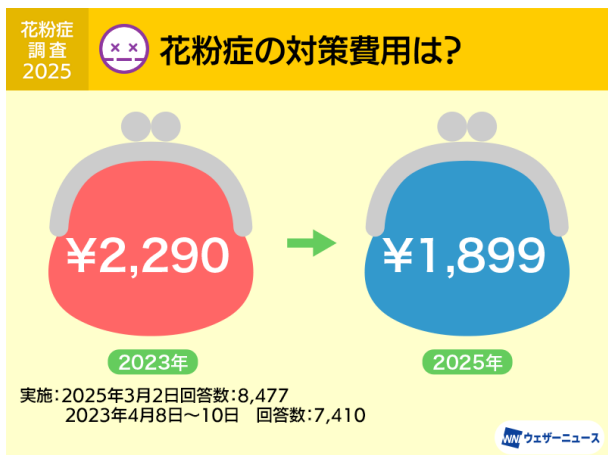
花粉症の治療について「現在、花粉症の治療を行っていますか？」と質問し「はい(対症療法[注1])」「はい(アレルゲン免疫療法[注2])」「いいえ」「花粉症ではない」の4択から回答していただきました(回答数: 10,235)。「花粉症ではない」を除くと、「はい(対症療法)」は37%、「はい(アレルゲン免疫療法)」は4%となりました。最も多かったのは「いいえ」で、花粉症の2人に1人以上が治療を行っていないことがわかりました。「いいえ」と回答した方のコメントをみると、『軽度なのでマスクや目薬などで対処』『年々治ってきたので治療しなくてよくなりました。』と、症状の重さで治療するかしないかの差が出ているようでした。



【注1】 対症療法: 抗ヒスタミン薬の内服や鼻噴霧用ステロイド薬などを使って、出てくる症状を抑えます。

【注2】 免疫療法(アレルゲン免疫療法): アレルゲン(抗原)を少量体内に入れることでアレルギー反応を和らげるもので、治療には数年かかります。

◆ 花粉症の対策費用は2023年から391円減少、対策費用1位は徳島県



花粉症対策費用について「現時点で、あなたが今シーズン花粉症対策にかけた金額はどれくらいですか？」と質問し、0円～10,000円の500円単位で回答していただきました(回答数:8,477)。花粉対策の費用は全国平均で1,899円となり、西日本や東日本で花粉が大量飛散した2023年と比較すると391円減少しました。ただ、今回調査を実施した3月2日はスギ花粉の飛散が本格化し始めたタイミングだったため、今後シーズン終わりにかけて対策費用が増加すると考えられます。

都道府県別にみると、ランキング上位には関東周辺や中国・四国が多く入っています。1位は徳島県で2,710円でした。2位は愛媛県、3位は群馬県、4位は山梨県と続きます。東京都は10位、大阪府は25位、愛知県は21位でした。一方、北陸、北日本の日本海側は対策費用が少なめです。最もお金をかけないのは北海道の738円で、1位徳島県との差は1,972円となりました。この結果は、「花粉症対策、いつからやっている？」の結果とエリアが似ており、事前の対策に力を入れる地域では、その分対策費用もかさんでいることが伺えます。

◆ きめ細かい情報で花粉症対策を強力にサポートするウェザーニュース「花粉飛散情報」

「花粉飛散情報」では、花粉(スギ・ヒノキ・シラカバ)の飛散予報が1時間ごと・3時間ごとの時系列と、1週間先まで確認できます(図1)。また、国内1,000か所に設置しているIoT花粉観測機「ポールンロボ」の観測によるリアルタイムの飛散状況も表示し(図2)、最寄りのポールンロボの観測データから、今どれだけの花粉が飛んでいるのかがわかります。花粉の飛散量は時間帯によって変化するため、同じ一日の中でも花粉症の症状に強弱が出ることがあります。飛散量の時間変化をより詳細に把握することで、花粉の多い時間を避けたり、飛散量に合わせて対策を強化したりすることが可能になります。さらに、周辺の花粉尘の方の症状の程度や(図3)、自分の花粉症の症状の特徴を診断できる機能(図4)も提供します。

花粉飛散情報では、政府の「花粉症対策の全体像」の指針に基づき日本花粉学会「花粉情報等標準化委員会」によって改定された新しい花粉ランクに対応して、少ない/やや多い/多い/非常に多い/極めて多い、の5ランクで花粉情報を公開します。

ウェザーニュース「花粉飛散情報」: <https://weathernews.jp/pollen/>



図1 ピンポイント飛散予報

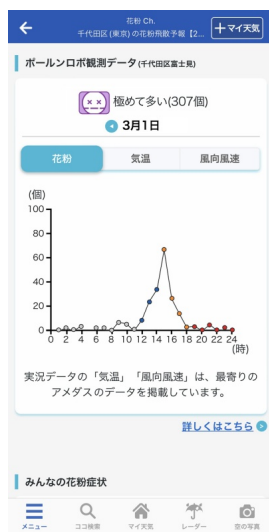


図2 リアルタイム飛散状況

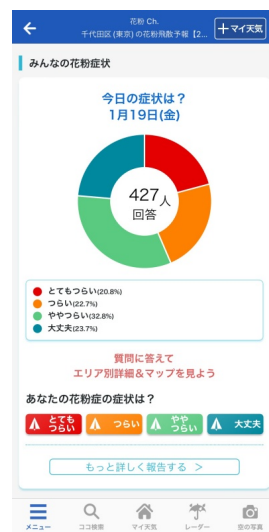


図3 みんなの花粉尘症状



図4 花粉症チェックシート

◇ 参考資料

花粉症です			事前対策する ※「飛散開始前」と「アレルギー免疫療法で年単位」を合わせて集計			花粉症対策費用		
順位	都道府県	割合(%)	順位	都道府県	割合(%)	順位	都道府県	金額(円)
1	山梨	72	1	徳島	44	1	徳島	2,710
2	三重	69	2	静岡	39	2	愛媛	2,596
3	静岡	68	2	広島	39	3	群馬	2,528
4	群馬	67	4	埼玉	38	4	山梨	2,479
5	埼玉	66	4	山梨	38	5	栃木	2,288
6	神奈川	64	4	愛媛	38	6	神奈川	2,284
7	栃木	63	7	茨城	37	7	島根	2,250
7	東京	63	7	東京	37	8	埼玉	2,208
7	岐阜	63	7	高知	37	9	茨城	2,152
7	愛知	63	10	福島	34	10	東京	2,115
11	茨城	62	10	栃木	34	11	静岡	2,111
11	徳島	62	10	神奈川	34	12	広島	2,107
13	広島	61	10	長野	34	13	高知	2,079
14	京都	59	10	三重	34	14	福島	1,993
14	高知	59	15	群馬	33	15	岐阜	1,978
16	千葉	58	15	千葉	33	16	長野	1,935
17	長野	57	17	大阪	32	17	岡山	1,934
18	福島	56	17	宮崎	32	18	鳥取	1,919
18	大阪	56	19	兵庫	31	19	千葉	1,856
20	岩手	55	20	宮城	30	20	宮城	1,851
20	山形	55	20	京都	30	21	愛知	1,791
22	奈良	54	20	鹿児島	30	22	奈良	1,787
22	岡山	54	23	愛知	29	23	京都	1,781
24	兵庫	53	23	岡山	29	24	大分	1,742
24	愛媛	53	25	滋賀	28	25	大阪	1,663
24	大分	53	25	山口	28	26	三重	1,652
27	宮城	52	27	青森	27	27	熊本	1,649
28	香川	50	27	岐阜	27	28	岩手	1,635
29	石川	49	27	奈良	27	29	兵庫	1,618
29	佐賀	49	30	和歌山	26	30	山形	1,588
29	鹿児島	49	30	福岡	26	31	鹿児島	1,576
32	滋賀	48	30	熊本	26	32	新潟	1,550
32	山口	48	30	大分	26	33	宮崎	1,531
34	新潟	47	34	秋田	25	34	青森	1,524
34	福井	47	34	鳥取	25	35	佐賀	1,479
34	島根	47	36	新潟	24	36	福岡	1,442
34	熊本	47	36	香川	24	37	和歌山	1,423
38	和歌山	46	38	岩手	23	38	福井	1,388
39	富山	45	38	山形	23	39	香川	1,363
39	福岡	45	38	佐賀	23	40	滋賀	1,331
41	宮崎	44	38	長崎	23	41	山口	1,290
42	鳥取	43	42	島根	22	42	長崎	1,262
43	秋田	39	43	富山	18	43	富山	1,235
43	長崎	39	44	石川	13	44	秋田	1,202
45	青森	31	45	福井	12	45	石川	1,157
46	北海道	28	46	北海道	11	46	北海道	738